



fu fu fu 幸せを感じたとき...

社会福祉法人しがらき会

信楽青年寮
ワークセンター紫香楽
しがらき地域生活支援センター
甲賀地域働き・暮らし応援センター

《法人事務局》信楽青年寮内

TEL 0748-82-0588 FAX 0748-82-0961

URL https://www.shigarakikai.or.jp E-Mail shigaraki@miracle.ocn.ne.jp

『(福)しがらき会より』

ご挨拶とご報告
社会福祉法人しがらき会
理事長 上田清樹

猛暑の候、ご町内の皆様方におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素より当法人しがらき会ならびに各事業所の運営に対し、格別のご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、私ごとこのたび前理事長 林晋の後任として、社会福祉法人しがらき会理事長に就任することになりました。もとより微力ではございますが、地域に根付く社会福祉法人として、その役割と責任を認識し、全身全霊を傾注し職務を全うする所存でございますので、前任者同様、何卒よろしくご高配賜りますようお願い申し上げます。

顧みれば私も法人しがらき会は、前身の財団法人を含めると本年度で設68年を迎えます。これまで創設者 故 池田太郎氏の理想『はたらくことをとおして、障がいのあるひと一人ひとりにとっての自立を地域で実践し、一住民として当たり前に暮らし、自然とまちに溶け込んでいくこと』を念頭に志し、取り組んで参りました。

この間、障がいがあったとしても一人ひとりの違い「できることできないことがあること」を認めご理解いただきながら、職場では熱心なご指導をしていただいたことにより、働き手となることができました。さらには、障がいがありどうしてもできないことがあっても、最小限の支援(サポート)を受けられること、ひとりの住民として地域生活をするのも可能となりました。これは、故 池田太郎氏が述べた「職得分離」(働く場と暮らす場を分離し、できることならば少人数による家族的な雰囲気の中で地域生活を推奨する環境設定の必要性)の発想の下、「企業就労や地域生活の優先思考」からの「職場実習」または「民間下宿・生活ホーム」といった実践的取り組み、あるいは障がい者雇用を推進し躍進させた職場支援組織とする「職親会」創設などがあつたからだと考えられます。

そう言えば、私が信楽青年寮に入職し間もない頃、とある見学者が発した言葉「信楽は障がい者虐待の町やな」が今も忘れられません。「えっ虐待?」その時代にはあまり聞かなかった「虐待」といった言葉に「えっ何が?」私には理解できませんでした。時代背景からすれば措置制度上、障がいのある人たちは施設で保護すべき対象者でありました。そのような中、「信楽では障がいのある人たちが施設から出し、地域の職場で働かせ、加えて地域で暮らせ世間の風に晒している」といった状況からそう表現されたようです。

お陰様で法整備も進み、制度も行政主体であった措置制度から、障がいのある人が主体となる支援費(対等利用契約)制度に様変わりし、今では障がいがあっても企業で働くことや地域生活をするのも当たり前となりまして、この当たり前に聞き慣れた「障がい者雇用やグループホーム(地域生活援助事業)」さらには地域共生社会等々、これらの言葉の根源は、ここ信楽にあり始まったと言っても過言ではございません。日本社会が変わるのになんと約半世紀を要したことになります。今から思えば「時期尚早」であったのかも知れませんが、こうした先駆的取り組みが今日の障がい者福祉に多大な影響を及ぼしてきたことは事実であり、これらは貴重な財産であります。

また、こうして障がいがある人たちが当たり前前に地域で働き・暮らすことができるようになった大きな要因として、ここ信楽には肝要な心で多様性をご享受くださる地域住民の皆様がおられたからこそ、成し得たものであることも忘れてはならないと思います。そうした「地域共生社会」の源泉が、ここ信楽にはあり脈々と流れています。そのような中、このコロナ禍での三年間は感染対策上、人と人の交流の場が制限され、これまで大切に培ってきた「顔の見える関係」が薄らぎつつあります。そこで、これまで繋いできた人流をさらに進化させ、新たな方法で創造し紡いでいければと考えています。どうぞこれからも、地域の皆さんと共に、当たり前を共有できま

信楽青年寮 だより



信楽青年寮 施設長 岩永 信也

盛夏の候、地域の皆様方におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

平素より、法人しがらき会並びに信楽青年寮の諸活動に格別のご高配とご理解を賜り、ありがとうございます。御礼申し上げます。

さて、今年の3月に上田前施設長の退任に伴い、後任として信楽青年寮の施設長を拝命いたしました岩永でございます。何卒よろしくお願ひ申し上げます。

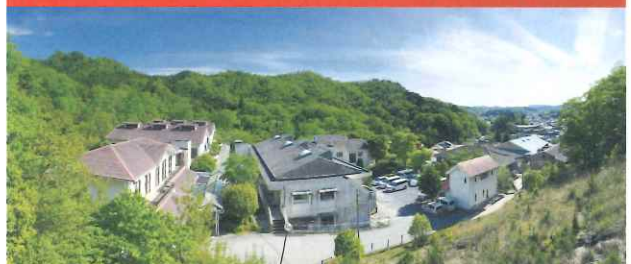
信楽青年寮は、今年で創立68年目を迎えます。歴代の施設長や先輩職員が長年引き継いでこられた思いをしつかりと継承していくことが、この1年目に思う目標であります。ご利用者、ご家族様、そして地域で住いの障がいのある方々がいつまでも安心して暮らすことができ、心豊かな人生を送れるよう、一層努力する所存でございます。

ご利用者の安全、自由な気持ち、社会参加の機会、幸せでいたい気持ちなど、みんながあたりまえに持っていることを、信楽での生活で可能な限り感じ取って頂ければと思っております。

現在、ご利用者の平均年齢が65歳となられていきます。車いすを利用されている方も増え、介護ベッドや見守り機器の導入も必要となってきました。そのようなことから、建物の老朽化も含めて住環境の整備が必須となり、利用者を中心とした居住棟の建築に向けた検討を始めています。

(創設者 故池田太郎 初代寮長メモより)

どんな状態の障害者も次の四つの原則は持っている
a. 自尊心を大切に
b. 無用の存在でなく有用の存在と思われたい
c. みんなと一緒にはしゃぎたい
d. 楽しく生きたい
この四つの障害者の原動力を奪うことが、障害者にかかわる人たちの使命であり義務である



環境を指し取り組んでまいりま
ころです。永年信楽で生活されてい
る方が多く、ここ信楽青年寮が生活
の基本とした住まいの場となります
から、安心して過ごしていただける
環境を指し取り組んでまいりま
す。
最後に、施設長1年目、改めて法
人の理念である『利用者の人たちの
「四つの願い」』を念頭に、スタート
させて頂きました。引き続き、地域
の皆様方のお力添えを何卒よろしく
お願い申し上げます。

スタッフ募集 (正規・パート)

しがらき会では職員を募集しています。

障がいのある人を支える仕事に興味がある方は、下記までご連絡をお願いします。お待ちしております。

詳しくはQRコードを読み取って下さい!!

募集職種 : 支援員・ヘルパー・看護師
世話人・送迎運転手 (通院補助)
洗濯業務

連絡先 : しがらき会法人事務局
☎ : 0748-82-0588
担当 : 中井・岩永



ワークセンター紫香樂より

こんにちは

みなさんこんにちは、ワークセンター紫香樂です。
今回は、甲賀市・県外からの問い合わせも多い名刺の紹介をしたいと思います。
こちらが、ワークセンター紫香樂で作成した名刺です。
ここで、名刺がお客様の手元に届くまでのやりとりを、簡単に説明させていただきます。



- ①名刺に載せたい情報を、FAXもしくはメールしていただく。(お問合せいただきましたら、所定の用紙をこちらから送付致します)
- ②デザイン案をいくつかご提案。
- ③案を見ていただき、お客様の意見ご要望を伺い、何度かやりとりをさせていただきます。
- ④デザインが決まったら、作成開始!
- ⑤一枚一枚、使う人のことを思い、利用者さんがカットしています。
- ⑥完成・納品

(デザインが決まってから10日ほどかかります)
...という流れになっています。

《お問い合わせ先》
ワークセンター紫香樂
TEL: 0748-82-2198
FAX: 0748-82-2199
Mail: kamikoubou@ex.biwa.ne.jp
担当: 田ヶ原

枚	片面白黒	片面カラー	両面白黒	両面カラー
50枚	¥1,200	¥1,700	¥1,700	¥1,900
100枚	¥2,000	¥3,000	¥3,000	¥3,500

校正料/¥1,000
送料/¥200~(重さによって変わります)

価格・印刷方法 (税込)

しがらき地域生活支援センター

だより

しがらき地域生活支援センターでは障害のある方の「あたり前に暮らしたい」という思いの実現を目的として日々の暮らしの中で利用者さんの思いや希望がかなえられるよう取り組んでいます。
ここ数年、新型コロナウイルスの影響で外出自粛が続いていましたが、皆さんからの希望もあり感染対策をし、開催出来ていなかったデイズニールゾート旅行を5月に実施しました。



利用者の皆さんは数年ぶりの旅行という事もあり、支援者と一緒に旅行用の衣類の購入等を入念にされ、皆で集まり、食事の事、アトラクションの事等話をして決め、楽しみに準備をされていました。1日目は天候も良く今だけしか見られない40周年のパレードを気持ちよく観覧できました。ポップコーンはいろんな味、ケースがありお目当てのものを探したり、ミッキー形のチュロスを購入し食べ歩きしながら、コロナ禍では出来なかった楽しみを満喫されていました。2日目は天候にあまり恵まれませんが、様々なアトラクションに乗ったりキャラクターに会ったりして過ごされました。絶叫系のアトラクションを楽しめる方、ゆっくりと園内を散策される方等それぞれの楽しみ方で2日間を満喫されました。
今後も皆さんが豊かな生活を送れるよう個別の外出やセンター行事等を実施し、満足のいく暮らし・本人の希望が現実できるよう応援をしていきたいと思っております。(谷川・小西・小川 記)

甲賀地域働き・暮らし応援センター

だより

甲賀地域働き・暮らし応援センターは、障がいのある人の「働く」と「暮らす」ことを一体的にサポートするセンターです。障がいのある人の就労ニーズと企業の雇用ニーズを結びつける取り組み、職場実習、職場の定着、就労に伴う生活のサポート等を関係機関と連携して実施しています。
今回は、甲賀・湖南圏域の障がい者雇用状況についてご紹介させていただきます。
令和4年度(3月末までの)甲賀・湖南圏域での当センターをとおして就職件数は、61件(前年度51件)と障害雇用されている人数は前年度よりも増加傾向にあります。ここ近年は、障害者雇用の雇用率が2.3%となりましたが、コロナの影響もあり求人が少ない状況が続いていました。コロナについての付き合い方や規制が緩和されるなかで新規に障がい者雇用と検討していると企業さんからの相談も増えてきています。障害者雇用をすることで助成金等をうけるメリット等もありますが、企業さんからは、「障害者雇用をすることで業務の見直しをすることによって働きやすい環境になった。」「企業内のコミュニケーションがよくなった。」「仕事を丁寧に教えるように考えることで他の従業員にわかりやすく業務を説明できるようになった。」など、職場内で様々な好影響があったとお話を伺うことも多くあります。

滋賀県内にある民間企業で雇用されている障害者の数は3620人で前年度より247人増加となっています。前年比7.3%増)し十三年連続で最高となっています。令和5年度については、2.3%で据え置きですが、令和6年度から2.5%、令和8年度から2.7%と段階的に引き上げることになっています。
障がい者雇用には、活用できる制度や助成金などどもたくさんあります。障がい者雇用をご検討される際には、当センターまでお問合せください。(杉本 記)

甲賀地域働き・暮らし応援センター
住所: 甲賀市水口町曙3-4-4
TEL: 0748(63)5830

職員TALK

先日転職した知人から聞いた面白い診断テストのお話をしたいと思います。
知人が就職した事業所では16動物診断(MBTI診断)を元に適正を見て職員配置をするという取り組みをしているそうです。16動物診断とは、①内向型-社交型 ②感覚型-直観型 ③思考型-感情型 ④判断型-知覚型のどちらかで16通りのタイプに分れる診断テストです。この結果によって、自分が誰を導いていくリーダータイプなのか?人がサポートするの下の力持ちタイプなのか?チームで仕事をするのが得意なのか?一人で黙々と仕事をするのが得意なのか?を知ることが出来ます。
鹿タイプだった知人は人をサポートするのが得意なタイプだったので現在、そのポジションで活躍しているようです。自分を知らず相手を知ること、どのようなポジションだったら力を発揮できるのか、意外とこんなことも得意かもしれません。意図した新たな発見があるかもしれません。案外、自分自身が一番自分のことをわかっていないのかも知れませんね。興味があれば是非やってみてください。(U・M)

グループワーク(私の視点)

GWは帰省のシーズンです。しかし、グループホーム入居者の皆さんは、仕事や友達との約束、はたまた家族の事情など、様々な理由で帰省をされない方も沢山いらっしゃいます。
私の勤めるホームでは、高齢の入居者さんが多いので、帰省されず、ホームで過ごす方も多くいらっしゃいます。帰省が無いらしいことを、残念そうにされる方もいらっしゃいます。GW中にショートステイで来られた方達と仲良く過ごされたりの楽しみを見つけて自分のお部屋で過ごされた。支援員が作ったGW限定のオリジナルメニューは、普段とは違う内容に、皆さん「美味しいわ」と喜ばれていました。さらには、帰省が出来ずに残念にしておられた方には、ご家族からのお土産が届くというサプライズ!しかも嬉しそうにされた。そのお土産を皆さんに振舞うと、嬉しそうに「離れていても、人と人とのつながりを感じることが出来る素敵な時間でした。」
私自身も遠い将来、介護や支援が必要となり、故郷や自分の家に帰ることができなくなるかもしれない。そのような時に、ホームの方々の「自分なりの楽しみ方」を思い出し、それを見習わせていただくことが、いい思い出だと思います。(K・A)